

日販連通信

第 3 号
2011 年 4 月 11 日 発行

発行者：日本販売農業協同組合連合会

中塚 敏春

住所：〒151-0053

東京都渋谷区代々木2-5-5

新宿農協会館

電話：03-3375-6399 Fax：03-3375-6637

Eメール：info-agricoop@pearl.ocn.ne.jp

震災1ヶ月特集号

東日本大震災から1ヶ月
被災地に心寄せて、
救援・復興、原発転換を

このたびの東日本大震災および長野県北部を震源の地震により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

本会では3月11日の震災発生直後から、被災地へのお見舞い、救援物資の発送、情報の提供などの活動を行って参りました。

この間、全国の会員の皆様、生産者団体、生産者、お取引先の皆様から、かつてないご支援を頂きましたことに心より感謝申し上げます。また、JA、NPOなど無数の組織を通じての皆様の被災地支援のご活躍に心より敬意を表します。

被災地では懸命の復旧、復興、そして身元不明者の搜索、安否確認などが行われているところです。しかし1ヶ月という時間を経てもまだに手付かず、被害者の搜索さえできていない地域、食べ物、物資が届かない地域などがいまだに残されています。

福島第一原発事故はいまだ収束しておらず、農家には出荷制限、これによる風評被害、作付け延期や禁止区域、さらに漁業関係者は基準値を超えたために漁ができず収入を閉ざされるなどの前代未聞の被害が発生しています。

ご案内のとおり、先日7日23時半ごろ、宮城県沖を震源とする震度6強の大きな余震があり、死者と多数のけが人が出ました。「せっかく復興の機運だったのに振り出しの気分」、「再び断水で工場が稼働できない」、「復旧したエサタンクがまた故障し豚舎も壊れた」などの被災の状況が伝わってきています。

4月10日午後3時現在、警察が確認した死者は12都道県で1万2998人、行方不明者は1万4691人で、計2万7689人になりました。避難所は18都道県で2357カ所に設置され、15万1179人が避難しています。全壊建物は9都県で4万8726戸です。福島県の津波、原発事故での避難者は2万人にも達しており、今後の原発の動向によってはさらに拡大する心配があります。

被災地の状況は救援・復旧・復興に向けた取り組みが従来の災害支援とは比べ物にならない規模、

期間、内容であることを私たちに示しています。被災地と心ひとつに、生産者と消費者が力を合わせて、今までにない一段と大きな支援の展開を呼びかけるものです。

戦後65年間で全く経験無い、最悪の事態をもたらした東日本大震災と原発事故です。食と農のあり方、エネルギー政策などが根本から問われています。協同と産直の原点をしっかりとらえ、新しい社会をめざして奮闘しましょう。

農民連から救援物資のお礼状

日販連御中

2011年4月5日
農民連震災対策本部

救援物資に対するお礼

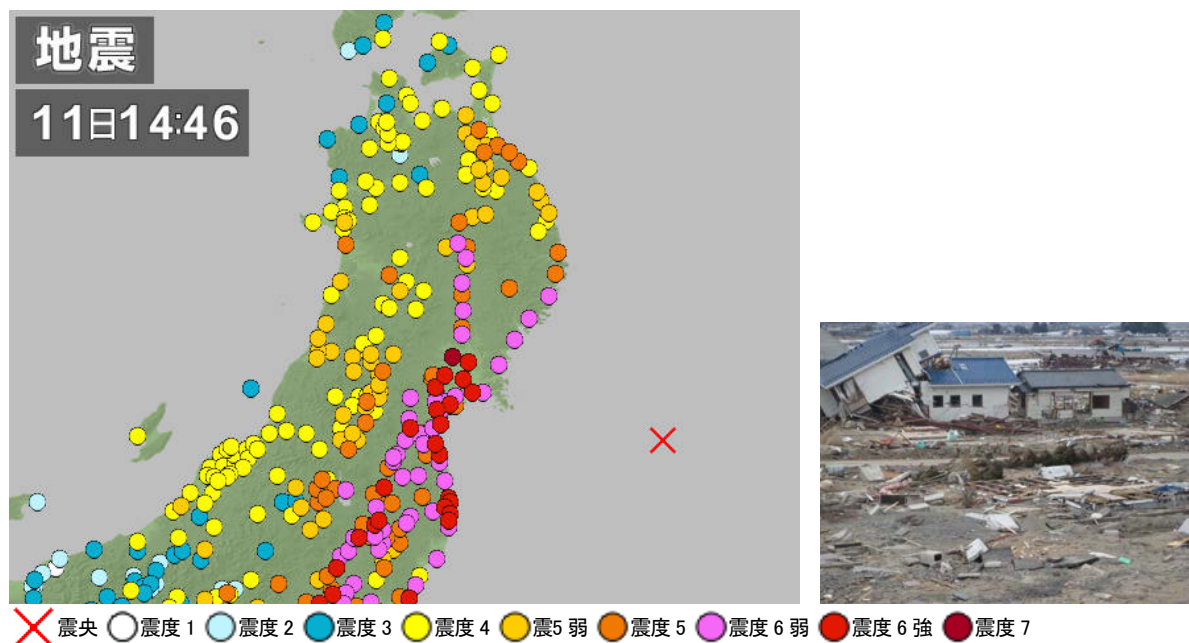
救援物資ありがとうございます。

農民連の活動は被災者の命を支え、希望をもたらしています。多くの国民が農民連の組織的な救援活動に驚き、共感しています。命の糧である食料を生産する農民だからこそできる活動であり、“国民・農民の苦難あるところ農民連あり”の立場に立つ農民の集団であるからこそできる運動です。

農民連に寄せられた救援物資は、避難所への炊き出しや差し入れ、病院や保育所への給食の支援へと使われています。

福島県でも、福島市内にある避難所での炊き出し、自炊用の米や野菜の提供、病院・保育園給食の食材提供、また被害の大きかった浜通・相馬市や南相馬市へも救援物資を届けてきました。

ニュースでお伝えしてきたように、どこでも感謝されています。ありがとうございました。



(気象庁ホームページより)

【震災から 1 ヶ月のドキュメント】

2011 年

日時	地震	原発事故	食料・農業	日販連	農民連など
3月11日	午後2時46分地震発生 M9.0 震度7 東北大津波発生	福島第一原発 1～3号機が自動停止。3～10km 圏内を屋内退避に。			
12日	新潟中越 震度6弱 長野県栄村等が被災	1号機水素爆発。 10km 圏内避難指示。			
13日		水蒸気の排気(ベント)開始。海水注入開始。		【茨城県被災地お見舞い】 やさと農協、茨城乳業 【メール情報送信】	農民連本部が東京から福島、宮城の被災地へ。
14日		3号機水蒸気爆発。		ひたち野農協、常陸野産直センター、小幡養鶏場	
15日	静岡東部 震度6強	2号機、4号機で爆発音。		【メール情報送信】	東北、長野への救援物資発送、荷受体制を確立。千葉農民連の野菜、コメが到着。
16日				【メール情報送信(2通)】	
17日				【メール情報送信(2通)】	
18日				全労連、農民連、生協労連と救援物資中継点を流通サービス株式会社に申し入れ。	
19日			福島、茨城、栃木のホウレン草から暫定基準値を超える放射能濃度検出。	【メール情報送信】	福島県連、全国から 20 トンの救援物資を被災地に。
21日			福島、茨城、栃木、群馬のホウレン草と福島の原乳を出荷制限。	【メール情報送信】	

22日			福島5町村の水道水で乳児の基準値を超える放射性ヨウ素	支援物資発送(くん製卵12,000個/かぶちゃん農園、有機トマトジュース84本/自然農法販売協同機構)	
23日			福島県内の野菜を摂取制限、出荷制限を拡大。茨城の原乳、パセリの出荷制限。 東京金町浄水場で乳児の基準値の2倍以上の放射性ヨウ素を検出。 日本食品輸入国が放射能検査強化を表明。	紀ノ川農協が10トン車で福島、宮城、岩手の農民連に緊急救援物資を届ける。 【メール情報送信(2通)】 支援物資発送(米、柑橘、タオル等92kg/のうみん)	
24日		3号機タービン建屋内で作業員が被爆。		【東北被災地お見舞い】 加工連 支援物資発送(米、鶏卵、軍手等/ひたち野農協、インスタント素麺、米、野菜490kg/供給センター長崎)	
25日		第一原発から20~30km圏内に自主避難要請。		山元町、亘理町、名取市、仙台市の被災調査 宮城農民連、日向養豚場、あい豚会、あいコープみやぎ 【メール情報送信(2通)】	
26日			福島県農作業延期を要請。	下郷農協が福島、宮城、岩手農民連にトラックで緊急支援物資を届けて激励。 【メール情報送信】 緊急手配ミネラルウォーター(下郷農協)3,000l分を東都生協物流センターに納品。	福島農民連が放射性物質汚染について専門家を招いて学習会。7日にはガイガー計数管で土壌。

27日				パールもりおか (盛岡市) 岩手へ支援物資発送(卵 100kg / 常盤村養鶏農協) 【メール情報送信(3通)】	
28日			津波被害農地 2.4万haに。	新岩手農協、花巻農協、いわて生協、岩手中央青果 支援物資発送(煮豆缶詰 144缶 / あがつま農協)	東京農民連が宮城に伝統野菜「のらぼう菜」を送る。
30日		東電会長 1~4号機の廃炉表明。		東都生協安全・品質管理部と農民連食品分析センター、日販連が放射線測定で協議。 【メール情報送信(3通)】	
31日				【メール情報送信】	農民連が農水省に放射能汚染問題、被災被害農家の救済、被災地への救援物資などを申し入れ。
4月1日				東都生協安全・品質管理部で、農民連のサーベイメーターの検出テスト。 【メール情報送信】 支援物資発送(鶏卵 290kg / かぶちゃん農園)	農民連食品分析センターが放射能検査を開始。岩手農民連女性部が洗濯機4台被災地へ。
2日		東電2号機亀裂から放射能汚染水の流出確認。			
3日					庄内産直センターが宮城で800食の豚汁の炊き出し。

4日		低濃度放射能汚染水を海に放出。	千葉県内の一部野菜が基準値を超える放射性ヨウ素で出荷制限。茨城県が沿岸11漁協に小女子自粛要請。	【メール情報送信】	
5日			魚介類の放射性物質の暫定基準値を設定。全漁連が東電に放射能汚染水放水に抗議。		茨城農民連が東電茨城支店に損害賠償などの要請行動。
6日				支援物資発送(米、ジュース、トイレットペーパー等の生活用品 2,500kg /綾町)	農民連四国ブロックが13トン車で1400km先の福島、宮城、岩手へ支援物資。農民連、房総椎名氏ら厚労省に「検査なく出荷停止」に抗議、申し入れ。
7日	M5以上の余震が394回に。 午後11時32分 M7.1震度6強の余震。				6～7日白石地震対策本部長岩手県被災地に見舞い 福島・浜通り農民連事務所移転、再出発。
8日			コメの作付け禁止基準を土壌5000ベクトル以上を設定。 福島県会津地方の原乳、群馬県産のホウレン草、カキナの出荷制限を解除。	【日販連通信創刊】	
10日			茨城産原乳の出荷制限解除		

緊急支援物資は本会経由以外に多数被災地に送り届けられています。

みなさまのご意見・ご感想をお待ちしております。 アドレス:info-agricoop@pearl.ocn.ne.jp